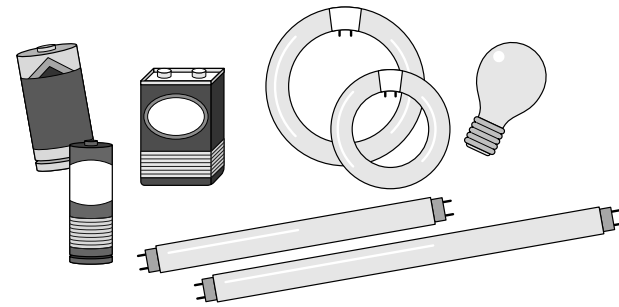


# 分別した資源ごみ こうやってリサイクルされています!!

## 乾電池・蛍光灯・電球編

最近の乾電池や蛍光灯・電球は、従来のものよりも「長持ち」するものが増えてきました。でも、いつかは使えなくなってしまいます。そのときは、きちんと分別して資源ごみとして出しましょう。



### 生まれ変わるまで

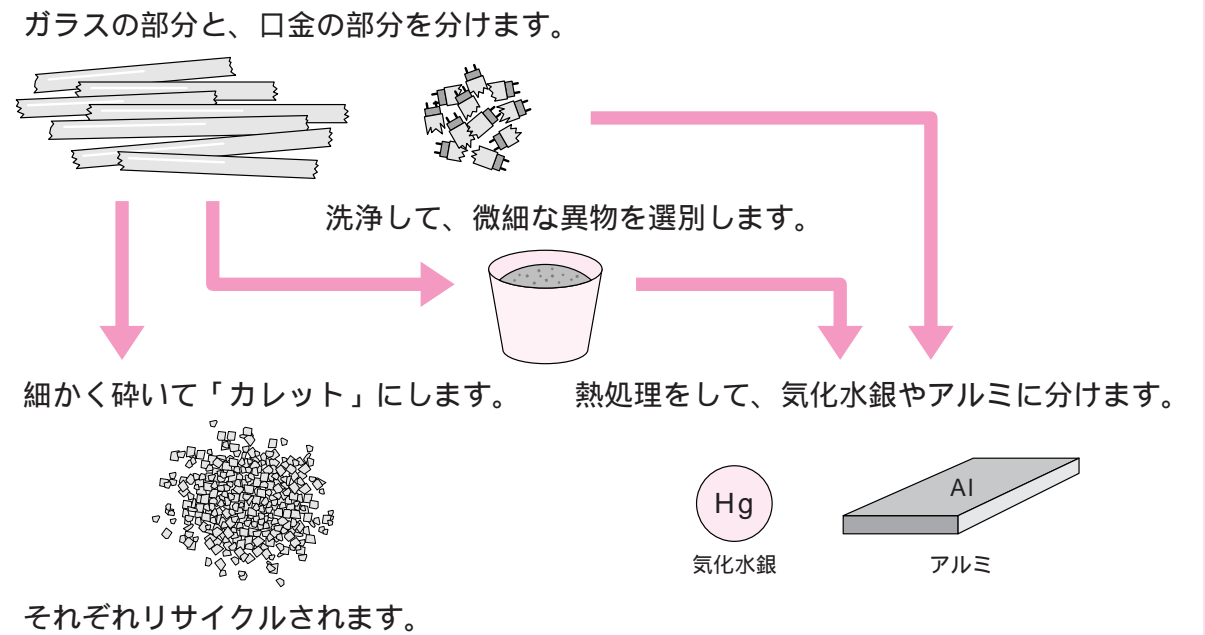
乾電池、蛍光灯・電球は、素材や部分ごとにリサイクルされます。

#### 乾電池

- 乾電池とそれ以外のものを選別します。
- 熱処理をして、気化水銀（気体状の水銀）、電池外缶、炭素棒、亜鉛かすに分けます。

- それぞれリサイクルされます。
  - 気化水銀**  
液体に戻して、精製します。蛍光灯や、大学・研究所の水銀試薬等に使用されます。
  - 電池外缶**  
製鉄所へ運ばれ、鉄筋等の鉄製品になります。
  - 亜鉛かす**  
亜鉛地金などに利用されます。
  - 炭素棒**  
燃料として利用されます。

#### 蛍光灯・電球

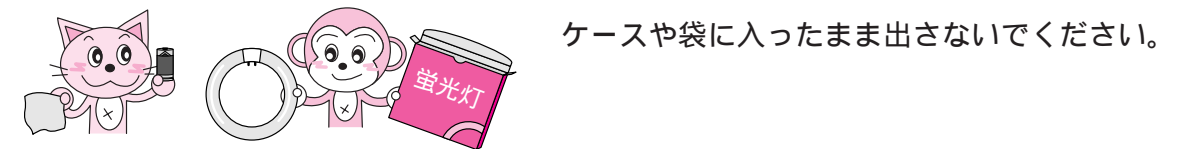


**カレット**  
断熱材やセメント等の建築資材の材料になります。

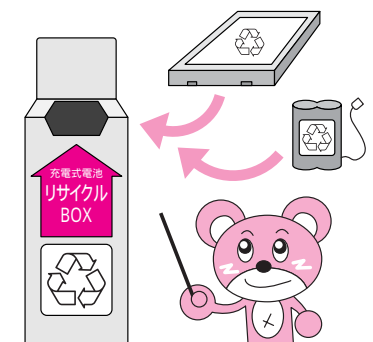
**気化水銀**  
乾電池と同様に、蛍光灯や水銀試薬等になります。

**アルミ**  
アルミメーカーに送られ、アルミ製品になります。

### ルールを守って正しく出しましょう



ボタン電池、バッテリーやニッケド電池などの充電式電池は、販売店に引き取ってもらってください。充電式電池やボタン電池は、乾電池とは違うリサイクル方法があります。これらの電池には、希少金属が使用されていて、メーカーが積極的にリサイクルに取り組んでいるため、ほとんどの販売店で引き取ってもらえます。右のイラストのような「充電式電池リサイクルBOX」が設置されている店舗もあります。



問北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748